

意欲ある学生が国内外から集う大学に

「学びたい」をあらゆる面からサポート

大学院生への支援

2021年に設置した大学院教育支援機構では、専門領域の壁を越え、多様化する社会ニーズに応える人材を育成するため、「産学協同教育コース」「教育能力向上コース」「グローバル生存学コース」「デザイン学コース」「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース」を開設し、約180名のコース登録者が学んでいます。修了者は総長名の修了認定書を得て、将来の幅広いキャリア形成に活かすことができます。

2023年度から、本学卒業生や修了生が活躍する企業からの寄附を受け、極めて優秀な大学院生向けに企業寄附奨学制度（DDD）を開始しました。本制度は、民間企業との積極的な交流による、産学協同教育の発展、業界理解の促進も目指しており、キャリア形成、研究の発展を目的に、賛同企業との交流会も開催しています。2024年度は9社からご支援をいただいています。

昨年度の交流会 Kyoto University Career Networking Festa!には奨学生に加えて、自身の専門知識や能力を社会で発揮することを志す大学院生や学部生も多く参加しました。参加学生には、奨学生による研究発表や、研究職として企業で活躍するOJOBからのフィードバックを通じて最新の産業動向や技術トレンドに触れ、将来のキャリア形成に役立つ貴重な経験を積む機会となっています。

また、「大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金」制度により、フィールド調査や、国際学会での研究発表、海外での共同研究、研究指導を受けるなどの目的で大学院生が渡航する費用を支援しています。コロナ禍が落ち着いたを見せるなか、大学院生の渡航意欲は急激に高まっており、これらのニーズに応える取組を進めています。2023年度は58名の学生を支援しました。



卓越大学院プログラム

www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/educational-program

「卓越大学院プログラム」とは、文部科学省が2018年度より公募を開始したプログラムで、各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業などと組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流および新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。

京都大学では「先端光・電子デバイス創成学卓越大学院プログラム」「メディカルイノベーション大学院プログラム」「社会を駆動するプラットフォーム学」の三つが採択されており、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材を中心とする高度な「知のプロフェッショナル」の育成に取り組んでいます。



先端光・電子デバイス創成学



メディカルイノベーション
大学院プログラム



社会を駆動するプラットフォーム学
卓越大学院プログラム

優秀な留学生の積極的な獲得

Kyoto iUP (Kyoto University International Undergraduate Program) www.iup.kyoto-u.ac.jp/

優秀な学部留学生の受け入れを拡充するうえで、これまで入学段階での日本語能力が大きな課題となってきました。京都大学が実施する Kyoto iUP (Kyoto University International Undergraduate Program) では、入学段階での日本語能力を一切問わず、入学決定後に徹底した日本語教育を継続的に実施し、専門教育段階から日本語で講義等を行うことで、日本語で学部卒業レベル（あるいは修士課程や博士後期課程修了レベル）の専門知識を獲得した留学生を育成しています。この取組によって、単に言葉の壁を取り除き、世界中からトップレベルの留学生を学部段階から受け入れるだけでなく、企業や大学における先端的研究・開発が英語以外の言語で行われるという世界的にも稀な我が国の特性に対応し、グローバル展開を図る日本企業および日本経済そのものを牽引できる、きわめて高度な外国人留学生の輩出と日本社会への定着に貢献していきます。



KUSTAR (Kyoto University Short-Term Academic Research Program)

国策としてインドからの高度人材獲得が急がれる中、本学は独自の取組として KUSTAR (Kyoto University Short-Term Academic Research Program) をスタートしました。インドトップ大学であるIIT (Indian Institutes of Technology) 各校から18名を、2か月間にわたり短期インターンシップ生として受け入れます。将来の本学大学院への進学、そして日本及び世界の産学を牽引するグローバル人材の育成に繋げて参ります。



ウクライナ学生への支援:ウクライナ危機支援基金

www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/ukraine/

ウクライナからの一時的な学生受け入れを可能とする特別措置（授業料免除等含む）を継続するとともに、生活支援についても関係機関と連携しながら実施しています。
更に必要な経済的支援を実施するために2022年に広く社会から寄附を募る基金を立ち上げたところ、多くの方々からご賛同のご寄附をいただき、現在も引き続きご支援をお願いしています。



学生への留学支援:京都大学安藤忠雄国際奨学金

www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/scholarship/ando-international-scholarship

海外留学にチャレンジする本学学生を支援するため、建築家 安藤忠雄氏のご寄附を原資とした本学独自の奨学金を2022年に創設し、海外での貴重な経験による成長を後押ししています。

